

大石泰全仕事

2004.4-2019.3

—東京藝術大学演奏藝術センター退任記念演奏会—

コンサートを企画する楽しみ

演奏藝術センター教授 大石 泰

演奏藝術センターにおける私の主要な仕事は、奏楽堂におけるコンサートの企画・制作でした。コンサートの制作は、前職のテレビ朝日のディレクター、プロデューサー時代から行っていたことです。2004年に転職して、サラリーマンから教員へと、その立場は180度変わりましたが、やっていることに変わりはありませんでした。

私は、テレビ朝日で長いこと「題名のない音楽会」という番組を担当してきました。コンサートで聴く音楽は、音楽そのものを楽しむわけですが、テレビ番組ではそうではありません。どのような文脈の中で、その音楽を聴かせるかということが重要です。コンサートを企画するとはいわばその文脈を考えることで、そこにこそ楽しみがあります。誤解を恐れずに言えば、音楽は材料であり、番組の企画によって選び取られるという考え方です。

私は、奏楽堂のコンサートの企画にも、この考え方をもち込みました。「藝大プロジェクト」「藝大とあそぼう」など、みな然りです。「藝大とあそぼう」は大人も子供も楽しめるコンサートで、奏楽堂だけでなく北区文化振興財団からの依頼で、王子の北とぴあでも開催してきました。今日は、その「芸大とあそぼう in 北とぴあ」のシリーズから、私が気に入っているシーンをいくつか抜き出して上演しようと思っています。



大石 泰 Yutaka Oishi

1951年東京生まれ。作曲を端山貢明氏に師事。1974年《チェンバー・ミュージック》が初演される。同年慶應義塾大学経済学部を卒業、日本教育テレビ（現テレビ朝日）に入社。故郷敏郎が企画・司会を務めた「題名のない音楽会」他、「オリジナル・コンサート」「徹子の部屋」などをプロデュース。2004年同社を退社し、東京藝術大学演奏藝術センター助教授、16年同教授。「劇場技術論」「コンサート・プロデュース論」などの講義の傍ら、「ジャズin藝大」「藝大とあそぼう」、学生の公募企画による「奏楽堂企画」、ゲーテやシェイクスピアにスポットを当てた「藝大プロジェクト」など、枠に捉われない企画をプロデュース。CD「戦没学生のメッセージ〜戦争に散った若き音楽学徒たち」(DISC CLASSICA)やDVD「小澤征爾の《第九》」(PHILIPS)などを監修。

お申し込み方法

下記の要領で往復はがきにてお申し込みください。(1名様につき1枚。ただし、3歳以上小・中学校のお子様は保護者の方と一緒にご入場いただけます。3歳未満は入場不可)なお、応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。

お申し込み締切日：2019年2月22日(金) (必着)

返信はがき送付予定日：2019年2月28日(木)

往信用	返信用
<input type="checkbox"/> 110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学 演奏藝術センター 「大石泰退任記念 演奏会」係	※返信側には何も 記入しないでください

返信用	往信用
<input type="checkbox"/> □□□□□□ ※送り先を ご記入ください	①郵便番号とご住所 ②お名前 (ふりがな) ③ご連絡の取れるお電話番号 ④同伴のお子様がいる場合は、 人数と年齢をお書きください。

東京藝術大学 奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

交通のご案内

■JR 上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

■京成線京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分

■台東区循環バス「東西めぐりん谷中行き」

② 上野駅入口口 → ⑤-1 東京芸術大学下車 [30分間隔]

※駐車場はございませんので、お車での来場はご遠慮ください。

